KOJIMACHI WEEKLY
THE ROTARY CLUB OF TOKYO KOJIMACHI

vol.53 no.27
2021.3.29

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES
ロータリーは機会の扉を開く
2020～21 年度年度
国際ﾛｰﾀﾘｰ会長 Holger Knaack

Rotary 東京麹町

東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 27 例会 2021.3.29（＃2302）会場：舞の間
例会ホスト・紹介係 守屋君 会費係 鈴木君
受付係 佐藤君 秋山君
司会者 崎山君 ｿﾝｸﾞﾘｰﾀﾞｰ 藤田君

卓話「イニシエーションスピーチ」
住吉 美紀様（秋山会員紹介）
吉沢 京子様（河合会員紹介）

前回の報告

第 26 例会 2021.3.22（＃2301） オンライン

卓話 「農と交流による再生」

ふくしま農業女子ネットワーク
までい工房美彩恋人代表 渡邊とみ子氏

会長報告

1） 桜の開花があちらこちらから報じられています。 いつもであればウキウキする季節ですが、まだまだコロナ感染の収束が見られず、自粛の日々が続きます。昨日、緊急事態宣言が解除されましたが、今後も慎重に安全に配慮して行動していきたいと思います。
2） 理事会にて、麹町ﾛｰﾀｰｱｸﾄｸﾗﾌﾞの設立を検討してきました。皆様にご承認いただきたいと存じます。いかがでしょうか？
3） 東日本大震災から 10 年が経ちました。復興に区切りも節目もなく、まだまだ道半ばと思います。 本日は、福島の農業を PR しているふくしま農業女子ネットワークの会員・飯舘村で馬鈴薯・かぼちゃ・ヤーコンなどを栽培・加工を手掛けている渡辺様にリモートでお話を頂きます。
4） 来週は 3 か月ぶりに、例会場での例会です。感染予防を厳重に開催しますので、皆様にもご協力をお願い致します。

幹事報告

1） 来週は、オータニ「舞の間」での久しぶりの例会開催です。 観桜会の予定でしたが、夜間例会は中止として、観桜会らしい豪華なランチを予定しています。 また、新入会員の住吉様吉沢様の入会式・イニシエーションスピーチを行います。 初めての女性会員です。華やかにお迎えしたいと思います。
2） 3/24 の奉仕活動情報交換会に参加希望の方は事務局までお知らせください
3） 今後の例会運営で、ご意見ご希望をお知らせ下さい。

世の中に たえて桜のなかりせば
春の心は
のどけからまし

2021 年度 RI テーマ
「奉仕しようみんなの人生を
豊かにするために」
Serve to change lives
シェカール・メータ RI 会長

次回予告

第28回例会 2021.4.12（＃2303）
会場：舞の間
例会ホスト・紹介係 吉田君
受付係 保科君 守屋君
会費係 飯嶋君
司会者 加賀君
ソングリーダー 鈴木君

卓話「企業審査のポイント～
基本と実践～」
坪井 清氏
紹介者 木寅会員

私のコロナ罹患記

元 NHK アナウンサー　住吉美紀氏（11/30 卓話　秋山会員紹介）

私は NHK 時代、福島で 2 年、仙台で 3 年、渋谷の放送センターで 10 年ほど勤めた後、2011 年に退職し、フリーアナウンサーの道を選びました。2012 年 4 月からは TOKYO FM の「Blue Ocean」という月～金曜の午前 9～11 時に放送している番組を担当しています。他の番組の場合、週に 5 日も放送がなかったり、祝日のときに特番に入れ替わったりすることもあるのですが、「Blue Ocean」は今までの 9 年間のうち、2 週間の夏休みなどを除いて休止になったのは 1、2 回しかなく、祝日も放送しています。ですから、自分は鉄道やコンビニのような社会インフラになったのだと考え、休まず元気でいることが仕事だと思うようになりました。ですから、新型コロナが問題となってきたときに、インフラとしてどうあるべきかという迷いが一番に生じました。

ラジオ放送では、比較的狭くて密閉度が高い空間で数人が仕事をしていますから、相当な危機感がありました。しかし、3 月ごろまではなかなか放送体制の見直しを決断できないままでした。しかし、4 月 1 週目に別部署の社員が陽性となり、そのニュースを聞いた翌日からリモート放送を強行しました。副調整室で仕事をするディレクターやミキサー、AD は移動できないので、私と放送作家は自宅から仕事をすることにしました。iPhone のアプリを使って話す音声が放送されるという仕組みです。スタッフ同士の連絡は音声を切った Zoom で手信号で送り、放送作家とのやりとりは LINE で同時に送る形で始めたのが、4 月 15 日の水曜日のことでした。

そして、その日の午後から私は体調の変化を感じました。最初は違和感と咳がある程度でしたが、翌日の午後には微熱が出て、さらに翌朝には 38.5℃になっていました。その日もリモートで放送だけはしたのですが、11 時以降は 39℃以上の熱が出ました。当時は発熱が 4 日間ないと検査を受けられず、薬もないので寝るしかないという知識はあったのですが、土曜日に汗も出なくなったため、夜に病院へ行き、その結果、PCR 検査をするまでもなくコロナでしょうと言われました。

その頃は「家で療養できる人は家で」と言われていましたが、高熱が続くだろうと言われて入院を決めました。結局、高熱で苦しんだので入院してよかったと思っていますが、そんな時期だったので心苦しく思っていたところ、主治医が「これ以上悪化しないようにするのがわれわれの仕事だから」と温かく言ってくださったことが心の救いになりました。

世界保健機関（WHO）の進藤奈邦子医師にインタビューをする機会があったのですが、感染症の流行に関しては防災と同じ意識を持つことが大事だとおっしゃっていました。つまり、準備と訓練が 9 割だそうです。中国やタイが軽く済んでいるのは、SARS などの経験から準備・訓練ができていたためではないかとおっしゃっていました。

私たちは今回のことを耐え抜くだけにとどまらず、今後いずれ再び来るであろう感染症の流行に向けて何に備えておけばよかったのか、どのような仕組みをつくっておけばよかったのかを後日検証することが重要です。

また、個人でできる防災準備として、いつでもすぐに連絡ができるように、コロナを診てくれる最寄りの病院やかかりつけ医、何でも頼れる友達の連絡先などを貼り出すことをお勧めしています。友達が意外に大事で、感染すると、家族は罹患していなくても濃厚接触者として極力外に出ないよう要請されます。下手をすると、今日食べる物もないということになりかねません。そのときに、信頼できる近くの友達がいれば、食べ物などを置き配してもらえたり、いろいろ頼ることができます。

そして、自分自身の予防に関して言えば、考え過ぎたり心配し過ぎたりすることで、ストレスが発症の大きな原因になった気がしています。現在は感染も拡大傾向にあり、外出を抑制されたり、楽しみなイベントが休止になったりいろいろありますが、ストレスをためない暮らしを工夫することがとても大事だと感じています。

感染予防を厳守して過ごしましょう

東京麹町ロータリークラブ

設　立	1968 年 6 月 17 日	〒102-0093
例 会 日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例 会 場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204 号
		TEL:03-3263-9220
会　長	須藤　仁	FAX:03-3263-9122
幹　事	齊藤栄太郎	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	飯嶋　一晃	URL：www.koujimachi-rc.jp